

たかはぎ

議会だより

2022.2
No.168

さくら宇宙公園
消防出初式



令和3年第4回定例会

会期	12月3日～12月15日
議案に対する質疑	 3
委員会審査報告	 4
市政に対する一般質問	 5

令和3年第4回定例会に提出された議案等

事件 番号	件 名	内 容	審議結果
報 告 第19号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	市有地内の枯れ木が倒れ、隣地のフェンスを一部破損し、損害を与えたもの。	—
議 案 第68号	高萩市農業共済条例の廃止について	茨城北農業共済事務組合を含む県内の農業共済組合4団体による新組合の設立に伴い、本市農業共済事業を同組合に移管するため、廃止するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第69号	高萩市立認定こども園の設置及び管理に関する条例の制定について	高萩市立認定こども園の設置に伴うもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第70号	高萩市建築確認申請等手数料条例の一部改正について	住宅の質の向上及び円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、審査事務に係る手数料の追加等を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第71号	高萩市国民健康保険条例の一部改正について	産科医療補償制度の掛金見直しにより、出産育児一時金の額等を改正するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第72号	茨城北農業共済事務組合の解散について	共済事業の効率化を図るため、令和4年4月1日に県内4団体による新組合を設立することに伴い、解散するもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第73号	茨城北農業共済事務組合の解散に伴う財産処分について	茨城北農業共済事務組合の解散に伴うもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第74号	令和3年度高萩市一般会計補正予算（第7号）	歳入歳出予算に、2億5,981万3千円を追加するもの。新型コロナウイルスワクチン接種経費の増等。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第75号	令和3年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算に、3,875万4千円を追加するもの。一般被保険者高額療養費等の増。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第76号	令和3年度高萩市一般会計補正予算（第8号）	歳入歳出予算に、1億8,296万7千円を追加するもの。子育て世帯等臨時特別支援経費の追加。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第77号	高萩市議会会議規則の一部改正について	多様な人材の議会への参画を促す環境整備を図るため、会議等への欠席事由を明文化する等の改正を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
	議員の派遣について	茨城県市議会議長会が主催する議員研修会へ派遣するもの。	原案可決 (全員賛成)
	議長辞職について	議長の辞職願について諮るもの。	許可 (全員賛成)
選 挙 第2号	議長選挙について	議長辞職に伴い、議長選挙を行うもの。	—
	副議長辞職について	副議長の辞職願について諮るもの。	許可 (全員賛成)
選 挙 第3号	副議長選挙について	副議長辞職に伴い、副議長選挙を行うもの。	—
選 挙 第4号	日立・高萩広域下水道組合議会議員の補欠選挙について	組合議会議員の欠員により議員の選挙を行うもの。	—
選 挙 第5号	高萩・北茨城広域事務組合議会議員の補欠選挙について	事務組合議会議員の欠員により議員の選挙を行うもの。	—

提出された議案等について、内容の詳細は、議会事務局で閲覧できます。

議案質疑

報告第19号 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）

坪和 久男 議員

質問 損害賠償が発生した事故の概要と対応について伺います。

産業建設部長 令和3年8月24日、赤浜の松久保工業団地内の海浜休養地の進入路にあった高さ約3メートルの枯れた樹木が倒れ、隣地のフェンスの一部が破損しましたので、破損したフェンスの補修や倒木等のおそれのある樹木の伐採などの対応を行いました。



海浜休養地の進入路

質問 再発防止について、ほかの市有地の倒木対策を伺います。

産業建設部長 万葉の道や花貫さくら公園など、ほかの観光施設においても調査を実施いたしました。が、現時点で倒木など利用者に危険性がある樹木は確認されておりません。今後も引き続き、樹木管理の徹底を図り、施設利用者及び隣接地への安全確保に努めてまいります。

議案第72号 茨城北農業共済事務組合の解散について

平 正三 議員

質問 茨城北農業共済事務組合を解散し、4団体を統合する理由と目的を伺いたい。

産業建設部長 統合する理由は、後継者不足による農家戸数が減少する中、農業経営基盤の強化を図る。目的は、将来にわたり安定的に農業保険のサービスを提供することにある。

質問 高萩市の農家にどのような影響があるのか。

産業建設部長 掛金及び補償内容に影響はなく、業務内容もこれまで同様である。

質問 高萩市の加入農家戸数について伺いたい。

産業建設部長 361戸である。

質問 多賀支所から高萩出張所に変わるが、どのような影響をもたらすのか。

議案第74号 令和3年度高萩市一般会計補正予算（第7号）

坪和 久男 議員

質問 市営住宅整備事業1910万8千円の補正理由を伺います。

産業建設部長 高浜住宅及び石滝住宅の給水ユニットが、設置後20年以上経過し、漏電等により給水停止するなどの不具合が発生しておりますので更新工事を行い、安定した水道供給を図るものです。

議案第76号 令和3年度高萩市一般会計補正予算（第8号）

岩倉 幹良 議員

質問 子育て世帯臨時特別給付金の対象者3611人に対して、今回、年内は5万円を給付するということですが、一括10万円を給付する自治体があるとの報道がありますが、経費のことを考えたら、

その方が良いと思うが。

健康福祉部長 年内に5万円の先行給付を予定している申請が不要な児童手当受給対象者等については、制度の案内や口座振込日の通知、受給を希望しない場合の確認等の事務手続き上、年内10万円を一括給付することが困難です。一括で10万円を給付される方が使い勝手が良く、また経費の面でも削減できるということはありますが、現在全国的に一括で給付する方法を選んだ自治体については、当初から一括で10万円を給付する、または、国の方針を見定めて専決処分、あるいは、自治体自前で通知等を準備できる自治体が一括10万円を給付できるようになっていると思います。



吉川 道隆 議員

質問 子育て世帯臨時特別給付金について、給付の仕方が、一括10万円、5万円ずつ2回、5万円とクーポンの三択で、北茨城市は12月14日に一括給付で議決。高萩市は5万円ずつ2回だが、なぜ一括にできなかったのか。議会の日程も財源も問題なかったのではないか。

市長 国からの最初の一括給付以外の2つの選択肢を示されたときに、高萩市ではクーポンではなく現金給付2回にするということで進めてきた。制度の案内や口座振込日の通知など事務手続き書類をすでに準備していたので、27日に5万円支給する選択とした。高校生等には1月中旬に一括給付する。

質問 振込手数料が2回かかることを考えると、時期を少しずらしても一括のほうがよかったのでは。

市長 内閣府からの通知で5万円の現金給付については、年内支給に向けて早期に取り組む必要があった。

質問 18歳以下の子供で働いている場合は支給対象となるのか。

健康福祉部長 年齢層で見ているので働いていても対象になる。



委員会審査報告

総務産業委員会

12月13日、当委員会に付託された議案5件、請願1件の審査を行った。

文教厚生委員会

12月10日、当委員会に付託された議案4件、請願1件の審査を行った。

令和3年度高萩市一般会計補正予算（第7号）

問 高萩保育所解体経費3850万円の内容について伺う。

答 高萩保育所の機能が今回新たに認定こども園のほうに移転することに伴いまして、老朽化、非耐震施設である高萩保育所を解体する工事請負費になります。今回計上している工事請負費につきましては、昨年度に実施しております第一幼稚園の解体工事費を参考にした概算費用として積算しております。



建設中のたかはぎ認定こども園

問 安良川公民館解体事業3592万6千円の内容について伺う。

答 解体費用につきましては、建物が鉄筋コンクリート造りであること、また市街地に立地しているため粉じん等の飛散防止の養生シートの設置や道路構造物に影響が出ないような仮設費のほうで割高となっております。さらに、今年度実施いたしました実施設計において判明した、長さ8メートルのコンクリート製のくいが42本基礎部分にあり、このくいの撤去に係る費用が標準的な撤去費用に比べ約2割程度高くなっております。

請願・陳情の審議結果

件 名	結 果
コロナ禍による米価下落の対策を求める請願	継続審査
中華人民共和国による人権侵害問題への対応を求める意見書の提出に関する請願	継続審査



岩倉幹良 議員

「石滝サッカー場」に堆積した土砂除去費用負担に係る住民訴訟について

質問 住民訴訟において原告である私は、市の管理する「石滝サッカー場」に土砂が飛散して堆積した土砂除去費用44万8千円について、一審の水戸地裁は土砂堆積の原因は明秀学園の野球場の整備作業によるもので、市は学園に対して全額支払請求権を取得した、と判示した。市長が、この判決を不服とした控訴審の東京高裁二審判決によれば、市が除去費用の支出を要することになった原因は、主に学園による野球場の整備作業によって土砂の飛散が進んだことにあると考えられるものの、市の対応が後手に回ったことがその損害の発生、拡大に少なからず寄与していると考えられるから、市が学園との間で除去費用の負担について、双方が分け合う形で合意による解決を図ることには、合理性がある、と判示しているが、市が後手に回ったということは、どのようなことを指しているのか。市長 後手に回った原因については、既に判決が出された訴訟案件

に関するものですので、判決文に記載されている内容を、改めて本議場においてお答えすることは控えさせていただきます。

質問 市の対応が後手に回ったことで、その損害の発生、拡大に少なからず寄与していると判示しているが、その責任は問わないのか。

市長 当時の担当職員に責任がないのかとのことですが、不当な公金支出がされることにはならないとの、二審の司法判断により、誰かに責任を問うということは全く考えていない。



東京高等裁判所



平正三 議員

特別養護老人ホームについて

質問 市内特別養護老人ホームの設置と入所状況について伺いたい。

健康福祉部長 松籟荘、高萩聖孝園、松籟荘サテライト安良川別館の3施設で、満床である。

質問 入所の待機者は何人いるか。

健康福祉部長 88人である。

質問 今後、ますます特別養護老人ホーム入所希望者が増える中で、どのような対応を考えているのか。

健康福祉部長 公立の整備の予定はない。広域の特別養護老人ホームの整備は、県と協議していきたい。

質問 民間での増床、公的施設の整備を検討していただきたい。

高齢者補聴器購入助成について

質問 高齢者の認知症予防に大きな効果が期待される補聴器購入助成について伺いたい。

健康福祉部長 国の動向や先進自治体の導入状況を踏まえ、調査研究していきたい。

市民体育館の雨漏り対策について

質問 完全に雨漏りをなくすためには、どのような対策を考えているのか。

教育部長 雨漏り箇所の確認を行い、修繕をしていきたい。

質問 雨漏りをなくすためには、屋根の全面的改修を行うべきである。



市民体育館

福祉灯油について

質問 ガソリン、灯油などの価格上昇で、自治体が生活者などに支援する場合、国は2分の1の財政措置を行う。生活困窮者に対し、灯油購入費助成を行うべきと思うが、伺いたい。

市長 国や県、近隣市町村の動向を注視していきたい。

質問 市独自の灯油購入費助成制度をつくることを強く求めたい。



坪和久男 議員

地域コミュニティ活性化事業の推進について

質問 高萩型地域コミュニティのモデル地区の選定と今後の方向性を伺います。

企画部長 平成28年11月に秋山下地区と大能地区、令和元年10月に赤浜地区をモデル地区として選定いたしました。モデル地区は、地区内の様々な団体が連携する場として、地区に活性化協議会を設置することが必須となっており、これまで新たなコミュニティ行事の企画開催や道路の里親事業への参画などを展開し、地域の活性化、会員の維持に努めています。将来的には、常設委員の設置区域のエリアで、22地区ぐらいの形で進めていきたいと考えています。

質問 約半数の常会に加入していない世帯へのコミュニティをどのようにしていくのか伺います。

企画部長 地域の課題等を把握するため現地調査を行っている中で、常設委員より、地域組織には近隣の方との顔の見える関係を築いた上で、防災と福祉の機能は必要であるとの御意見も伺っており、常会等地域組織の必要性は

高く、加入率を向上させることが重要であり、2つの機能が地域コミュニティ推進のメリットとして捉え、常会等地域組織への加入促進策を検討してまいります。



高萩市の所有する土地の管理と利活用について

質問 市有地の利活用を図るため、市民や民間事業者等の意見等を取り入れる制度の導入を提案したい。

総務部長 公募を行っている土地以外の土地は、有効活用が図れることは考えにくいことから、現時点で提案制度の導入を行うことは考えておりません。



大足光司 議員

地域力が笑顔を育むまち高萩について

質問 コロナウイルス変異株オミクロン株の発生により、再度コロナ禍の脅威に不安視する社会に戻ってしまったように思う。ワクチン接種の取組状況について伺う。

健康福祉部長 接種状況（11/30現在）については、1回目接種回数2万3304回、12歳以上対象者の93・1%、2回目接種回数2万2926回、12歳以上対象者の91・6%が接種を行っており、概ね希望する市民の方全てが接種を終えています。接種後の副反応を発症したケースは確認しておらず、順調なワクチン接種が行われてきたものと認識しています。

質問 ワクチン接種証明書及び3回目のワクチン接種については。

健康福祉部長 ワクチン接種証明書は、国において12月中旬を目途にデジタル証明書発行が開始できるよう準備しています。具体的にスマートフォンアプリからマイナンバーカードによる本人確認の上、申請を行い、スマートフォンに証明書が表示されるものとなります。接種証明書のデジタル化により、

国内での利用が容易となり民間が提供するサービス等において人数制限や移動制限緩和への活用が想定されますが、本市での接種証明書の活用については、提示の有無によって取扱いを区別することは、住民の不公平感を生じる場合もあるため、他市の状況等を鑑みながら活用を検討してまいります。

3回目のワクチン接種については個別接種のみで、12月から医療従事者へ接種、その後、高齢者より順次接種券を送ります。





八木陽子 議員

高齢者対策について

質問 神奈川県大和市では「認知症1万人時代に備えるまち宣言」を掲げ、認知症の徘徊による事故や怪我だけではなく、第三者の財産へ与えた法律上の多額の損害賠償金を保険で補償する事業に取り組み、はいかい高齢者等 SOS ネットワーク登録者の保険料を市が負担しています。高萩市は、どのような徘徊高齢者対策事業を行っているか伺います。

健康福祉部長 一つ目は、在宅介護支援事業として、1か月5500円のレンタル料が掛かりますが、GPS端末の貸し出しと現場急行費用の助成を行っています。二つ目は、徘徊 SOS ネットワークです。行方不明者発生時、高萩警察署、市内事業者等が連携し、防災行政無線や SNS 等で捜索協力を呼びかけ、早期発見と家族の負担軽減を図っています。三つ目は、徘徊 SOS ネットワーク登録者に配付しているおかえりマークです。靴や杖、洋服などに貼るシールで、登録者の特定が容易にできるようになっています。

質問 高萩市の徘徊 SOS ネット

ワークの登録者は何人ですか。

健康福祉部長 令和3年11月現在、32名の方が登録しています。

質問 大和市では、一人2200円の保険料を年間約110万円自治体が負担しています。高萩市にあてはめて考えると、約数万円の負担で済みます。市民が安全、安心に暮らすため、この事業の導入について、考えを伺います。

健康福祉部長 他市町村の事例を踏まえ、調査研究してまいります。



吉川道隆 議員

「My Ride のるる」の利用促進について

質問 開始されてからの利用状況はどうか。目標はどれくらいか。

企画部長 7月9月の3か月で延べ181名。10月は延べ558名、11月は延べ632名と着実に増えている。1日平均約32名。移行前の市街地循環線の運行実績が1日平均約30名だったので、目標の一つは達成できた。

質問 一般の人が1回の利用で300円払ったとして、目標の30名利用した場合9千円。バス2台で運転手2人、採算がとれるのか。

企画部長 採算性ではなく現在走っている定時定路線の乗客数を上回れば一つの成功だと考える。

質問 事業継続のため、バスを小型化して経費削減、運行時間を5時まで延長し、仮想バス停を増やして利用者を増やす工夫が必要。

市長 課題は認識している。実証運行を行う中で、市民の利用の仕方进行研究し、茨城交通と協議を重ねていきたい。

質問 「のるる」の利用には電話予約もできるが、スマホがないと利便性が実感できない。いちば



待機中の「のるる」

ん「のるる」を利用してもらいたい高齢者にスマホを持っていたために、東海村のようにスマホ購入費を補助してはどうか。または、免許返納した時に、タクシー券3万円の代わりにスマホ補助金を選択肢に入れたらどうか。

市長 高萩市は購入費用を補助するのではなく、スマホに対する不安感を解消したり、デジタル格差を解消する取組を実施する。タクシー券の代わりにというのは、事業の検討の中で判断する。

その他の質問

○環境教育について

○鳥獣被害を防止する支援について

○リサイクルセンターについて



田所和雄 議員

高萩市観光振興計画について

質問 観光振興計画の目標値について伺う。

産業建設部長 計画策定時の平成29年度の観光入り込み客数31万1000人から、計画最終年度の令和5年度の目標を40万人としています。地点別の目標値は、高萩海水浴場1万人、高萩まつり5万3千人、花貫溪谷27万6千人等としています。



花貫溪谷紅葉まつりについて

質問 今年の実績について伺う。

産業建設部長 来場者数4万8208人、駐車台数1万4827台で、バスを利用した団体旅行は減少しましたが、個人旅行は増加しています。質問 景観維持のための継続的な紅葉等の植栽計画、駐車場トイレの

整備計画、花貫溪谷の総合的な魅力アップについて、市長の所感を伺う。市長 植栽については、観光協会と連携して計画的に実施し、トイレは花貫溪谷周辺の環境整備において総合的に検討します。整備計画を新たに策定し、市民の皆様が誇れる観光地となるよう事業を推進します。



花貫川、関根川の洪水対策について

質問 高萩市国土強靱化地域計画における市内河川の洪水対策について伺う。

市民生活部長 浚渫、除草などの適正管理による流下能力の確保、未改修河川の改修検討、避難に対する情報発信の強化等を記載しています。

質問 新花貫橋付近で実施中の花貫川の河道掘削工事の事業内容について伺う。

産業建設部長 県に確認したところ、新花貫橋を中心に上下流約300mの合計約600m区間、島名地区の小屋下橋下流付近約200m区間の河川断面を確保するための河道掘削を実施することです。



菊地正芳 議員

防災行政について

質問 市女性職員、OBを含めて83名の方が防災士資格を取得している。こうした方々に、例えば女性のみが参加する出前講座、女性防災士交流研修会など、防災士資格取得向上の一端を担っていただく事について伺う。

市民生活部長 女性の防災士資格取得とともに、既に資格を有する方へのフォローアップにも効果が期待できると認識しておりますので、今後、開催に向け、調査研究してまいります。

質問 実践経験そして知識豊富な女性消防団の方々にも資格を取得していただく取組について伺う。

市民生活部長 まずは防災士資格を取得した女性職員を災害対応のリーダーとして位置づけるとともに、自主防災組織の中に女性の視点を取り入れていく取組を継続してまいります。

市民協働による公共施設の維持管理について

質問 SNSを活用した情報提供システムの導入について伺う。



市民生活部長 現在、防災行政無線システムと連動した防災アプリの導入を進めており、この機能を活用し、道路などの公共施設に関する情報収集の新たな手段としてまいります。

子供の弱視予防について

質問 弱視など、子供の目の異常を早期発見するために、3歳児健診で屈折検査ができる屈折検査機器の導入をすべきと思うが伺う。

健康福祉部長 弱視を早期発見し、適切な治療へつなげるため、今までの視力検査に併せ、客観的で正確な検査結果が得られるスポットビジョンスクリーナーの導入に向けて準備を行っているところです。

高校生が傍聴に来てくれました

12月7日、定例会一般質問について、今年も高萩高校の3年生が傍聴に来てくれました。感想が寄せられましたので一部紹介します。

①高萩市の現状などについて話し合っていることを知り、それに対して真剣に取り組んでいることがわかりました。

答弁者の方は、地域のデータ等を基に話していて分かりやすかったです。特にバスに関する内容が印象に残りました。バス停設置については、様々な方面の方々と協議しており、慎重に考えを進めているんだなと思いました。

改めて雰囲気が、緊張感で包まれている場ということを再認識しました。

②高萩市をより良い町にするために、議員の一人一人がしっかりと話し合っている様子が見られました。

学校生活で行われる委員会と比べて、とてもピリッとした雰囲気を感じました。意見がとても飛び交っていましたが、これは市の運営のためなので、これからも高萩市のまちづくりのために、引き続き頑張りたいです。

③議会を開き、いろいろな人と討論することで、高萩市が豊かになるのかなと考えました。

市議会を傍聴して、市民のことをしっかり考えていて素晴らしいなと思いました。

一方で、より市を豊かにしていくためにも、改善していかなければならない課題があるんだなと考えました。

市議会を初めて傍聴し、関心を持つことができました。



20日 議会広報委員会
17日 議会広報委員会
13日 議会広報委員会
1月 第1回臨時会

21日 議会広報委員会
15日 日立・高萩広域下水道組合
3月 議会定例会
12月 第4回定例会

29日 高萩市・北茨城市広域ごみ
25日 処理施設建設現場視察
24日 議会全員協議会
11月 タブレット端末操作講習会
11月 議会運営委員会

議会日誌

市民の声

秋山在住 T・Mさん（女性）

「お母さんがね、お父さんがね、誕生日にこれ買ってくれたの」と目を輝かせる子。みんなを喜ばせようとままごと遊びを工夫する子。そんな生き生きした姿を見ると、子供の素敵で、たくましい姿をお母さんたちは知っているのかしらと思い、高齢になっていく自分と比べ、まぶしいようないい気持ちになり勇気づけられます。

ところが、仕事柄、若いお母さんの話を聞いていると、子供の話との落差が大きいので驚いてしまいます。

お母さんに訳もなく叱られた、朝ご飯を食べなかった、帰ってくるのが遅い等、本当に大丈夫かしらとハラハラすることも多いのです。

子供と親の気持ちの落差、隔たりはどうしてなのだろうと、若いお母さんたちの話を聞くと、1人で2人の子供を育てているので時間的な余裕がない、パートの時間が変則で忙しい、お金が足りない、家族がうまくまとまらない等、今

は手がかからなくなってほっとしているが、それでも悩みは尽きないようです。

民生委員のように、役職上、相談にのれるボランティアの方はおられますが、若いお母さん達は本当に大変だなと思います。

世の中は、高齢者の福祉は整ってきていますが、こうした若いお母さん達の悩みを親身になって聞いてあげたり、サポートする仕組みは整っていないのではないかと思います。

頑張る若いお母さん達に、高萩市はやさしい、しっかりサポートしてくれる町だと評価していただけるようになったら、本当に素晴らしいと思います。



令和4年第1回定例会（3月）予定

4日(金)	本会議	議案上程
7日(月)	本会議	一般質問
8日(火)	本会議	一般質問
10日(木)	本会議	議案質疑
14日(月)	文教厚生委員会	
15日(火)	総務産業委員会	
16日(水)	予算特別委員会(総務産業所管)	
17日(木)	予算特別委員会(文教厚生所管)	
18日(金)	予算特別委員会(特別・企業会計)	
24日(木)	本会議	採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。
※新型コロナウイルス感染症の発生状況により、傍聴を中止する場合があります。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	市ホームページ (携帯・タブレット可)	○
総務産業委員会 文教厚生委員会 予算特別委員会	ユーチューブ	○

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーチューブを利用しています。使用環境によっては、視聴できない場合があります。

○FM放送は、全てたかはぎFMです。

※本会議については、これまでの録画もご覧いただけます。

議会広報委員会

委員長	八木 陽子
副委員長	飯田 毅昭
委員	大田 光司
	我妻 康伸
	岩倉 幹良
	渡辺 悦夫
	坪和 久男

令和4年がスタートして、はや1か月が過ぎました。終息が見えないコロナ禍の中、ワクチンの3回目接種も開始され、医療従事者の皆様には、感謝申し上げます。「ウィズコロナ」と呼ばれ、長い時間が経ってしまったように感じますが、これからもうくじけることなく、市民の皆様とともに乗り越えていく所存です。

市議会は、市民の皆様の安心・安全を第一に、そして経済の活性化も同時に見据えながら、行政とともに取り組んでまいります。引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(飯田 毅昭記)